

## フィリピン 南北通勤鉄道向け車両(「sustina」)の出荷開始について

株式会社総合車両製作所(以下「J-TREC」)は、住友商事株式会社と共同でフィリピン共和国運輸省(以下「DOTr」)から南北通勤鉄道事業 フェーズ1(マニラ市ツツバン~ブラカン州マロロス区間)の車両納入パッケージ CP03(南北通勤鉄道向け鉄道車両納入プロジェクト、以下「本プロジェクト」)を受注していますが、このたび J-TREC が製造した「sustina」ブランド※の鉄道車両(1編成8両)を、2021年10月18日より出荷開始しました。



出荷開始したフィリピン 南北通勤鉄道向け車両

※J-TREC は、ステンレス車両製造のパイオニアとして長年培ってきた技術・ノウハウを結集した次世代ステンレス車両ブランドである「sustina」を国内外で積極的に展開し、納入しており、本プロジェクトにおいても「sustina」を提供いたします。(「sustina」は、J-TREC が設計・製造する次世代ステンレス車両のブランド名です。)

- 本プロジェクトは、国際協力機構(JICA)とフィリピンとの有償資金協力に基づき計画された日本国政府開発援助事業です。
- マニラ首都圏と周辺都市を南北に結ぶ「南北通勤鉄道計画」のうち、マニラ市ツツバンと北方のブラカン州マロロス区間(約38キロメートル)を走る鉄道車両104両(8両×13編成)を設計、製造し、DOTrに納入します。
- マニラ首都圏の交通ネットワーク強化を実現し、交通渋滞の緩和に寄与するプロジェクトです。

■本プロジェクト概要

案件名 : フィリピン南北通勤鉄道事業フェーズ 1 CP03  
(マニラ市ツツバン~ブラカン州マロロス区間)

顧客 : フィリピン共和国運輸省

契約内容: 鉄道車両 104 両(8 両×13 編成)の設計、製造、試験、製品保証(Warranty 対応)、予備品・特殊工具納品、運転シミュレーター納入、従業員トレーニング等

全体工期: 42 カ月

■路線図

